

会 議 の 概 要

1 会 議 名	平成29年度第3回宝塚市社会教育委員の会議
2 開 催 日 時	平成30年1月15日（月）17時00分～19時00分
3 開 催 場 所	宝塚市役所 3階 特別会議室
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	■橘委員 ■清水委員 ■林委員 ■薄田委員 ■大西委員 ■温井委員 ■河野委員 ■西本委員 ■伊藤委員 □エバンズ委員 ■板東委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	■ 可 □ 不可 □一部不可
7 議 題 及 び 結 果 の 概 要	◆報告 (1) 平成29年度全国社会教育研究大会北海道大会について (2) 平成29年度近畿地区社会教育研究大会について (3) 平成29年度兵庫県社会教育研究大会について (4) 平成29年度阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会について ◆議題 地域課題解決のための公民館学習及び社会教育のあり方について

平成29年度 第3回社会教育委員の会議 議事要旨

1 報告事項

- (1) 平成29年度全国社会教育研究大会北海道大会について
平成29年9月12日(火)・13日(水)開催の報告
- (2) 平成29年度近畿地区社会教育研究大会について
平成29年9月7日(木)開催の報告
- (3) 平成29年度兵庫県社会教育研究大会について
平成29年11月15日(水)開催の報告
- (4) 平成29年度阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会について
平成30年2月19日(月)に開催予定の研修会への協力依頼
予定している内容は、たからづか学校応援団の概要とすみれが丘小学校における実践発表の後、ワークショップ形式による情報交換を予定

<各意見>

- (委員) 近畿地区社会教育研究大会では、高校生の発表に感動した。分科会では西宮市の公民館の状況を聞き、宝塚との違いを感じた。
- (委員) 阪神北地区の研修会での役割や担当があるのか。
- (事務局) ワークショップで参加者の意見をできるだけ引き出す雰囲気づくりをお願いしたい。

2 議題 地域課題解決のための公民館学習及び社会教育のあり方について(諮問)

(事務局) 前回の会議で諮問を行ったが、研究テーマの範囲が広いため、地域課題解決のための公民館学習について、現在の委員の任期(平成30年7月)までに中間答申をできればお願いしたいと考えている。社会教育のあり方については、次期の委員において研究・協議をお願いしたい。事務局としては、小委員会を置いて具体案を作成し、全体会議で議論をする方法を提案したい。

(委員) 公民館の現状と分析を行う上で公民館の職員の話聞くことを提案したがどうなったのか。

(事務局) 本日の会議で答申作成の進め方の結果の後、調整したい。

(委員) 小委員会で案を作成し、全体会議で議論の方が進めやすいと思う。

(議長) 説明を求める公民館の職員について教えてほしい。

(事務局) 現在は再任用職員であるが、社会教育主事で長年、公民館事業の企画を担当している。現場に精通しており、前回の会議において現場に精通している職員の話という希望もあったので適任と考えている。

(委員) 公民館が地域課題に取り組むには、どういうステップを踏めばいいのか。各地域に公民館がないので難しい。今回の答申は、より現実的な観点で作成する必要がある。小委員会の前に、公民館の職員の話全体で聞いて、各委員の意見を聞き、集約した後小委員会を開く方がよいと思う。

(事務局) 次回に公民館職員の話をお聴き、質問や意見を集約する。その後に小委員会で具体的に進めていきたいがよいか。

(委員) 公民館の役割を知らない市民も多いと思う。もっと情報を発信する必要がある。まちづくり協議会が地域課題について話し合う場を公民館で開き、情報を共有するのもよいと思う。

(委員) 地域課題への気付きはあっても、どう解決するかが難しい。

(委員) 住民からどういうまちにしたいか、自分たちで考えることが大事だ。

(委員) 公民館には貸館のイメージがあった。部屋を借りるだけではない本来の公民館のあり方を発信する必要があると思う。地域で活動している団体は横のつながりが薄く、線や面となってつながっていない。現場で活動している人が集う場所になれば、横のつながりができ、少しずつでも課題の解決へ近づけると思う。

(事務局) 課題を解決するために、何処で、誰に聴いたらいいのか等の知識を持つことが社会教育主事に求められる。全国的な地域課題の傾向などの情報を参考に講座企画に取り組む。その中で新たなつながりを作っていくことが大切である。人と人が実際に顔を合わせる場を作ることが、社会教育として公民館に限らず大切である。

(委員) 子どもに関する情報についても、公民館としてキャッチする必要もある。

(委員) 中学校区ごとの青少年育成市民会議で年5～6回、地域の課題を話し合っている。そこには、まちづくり協議会や自治会、民生・児童委員等の地域の人と学校関係者が参加している。全市的な課題は公民館で取り組めても、地域課題になると難しい面があるのではないかと思う。

(事務局) 公民館もアウトリーチのあり方を考えていく必要がある。

3 その他

次回の会議は、公民館職員のお話を聴く会を2月初旬に調整する。